去ル六日建艦中止以前ノ造船所職工数ハ約壱萬七千人ナリシガ六日造船所ガ別紙職工諸君ニ告グト題スル聲明書ヲ職工全部ニ配布シタル以来同月二十五日迄ニ退職申出ノ職工数ハ参千五百餘名ノ多数ニ達シタレバ造船所ハ稍驚キ必要人員支持ノ為メ一般工場ヘ特別臨時手當給與ハ二十五日限リ打切リ廢止ノ印刷物ヲ配布公表スルニ至レリ

斯ノ如ク造船所ガ豫期以上十二分ノ好成績ヲ擧ゲ得タル理由ヲ左ニ列挙スレバ

総論

造船所ハ去ル大正六年六月戰艦日向建造中ニ於ケル辛キ經験即チ當時壱萬参千七百人ノ全職工中其ノ半数以上ニ當ル七千八百名ガ四能工シタルニ今尚恐怖ノ念ヲ抱キ且昨年神戸ニ於ケル争議並ニ近時各地ニ争議敎発シ居ルニ鑑ミ建艦中止ノ

(甲)

7

三菱解職工 歸農者を歡迎

三菱長崎造船所の職工解雇數は三千五百名に達し此内郷内在住者も尠らず是等が一時に歸郷するに於ては或は失業者を生ずるやも計り難いので縣當局より各郡市に對し夫々調査方照會中であるが西彼杵郡は同造船所に隣接の關係上影響最も甚大なるべく觀察されてゐるが小野同郡長は語る

本郡よりの三菱職工は隨分多いたらうが今日迄の通知に依ると百名内外に過ぎない而して一方農村を顧みれば何れも手不足勝ちで郡内の純農村たる長與村の如きは本年の適齢者中六割迄は長崎に出てゐる狀態とて是等が全部歸村しても失業所が大に喜んでゐる位である其他各村も殆ど同じ狀態で唯福田小榆兩村は多く通勤職工である故是等は行かぬかも判らぬ又他村は從來職工として出掛けし者なく比較的今回の影響も少かるべく鰯網漁人夫の如きは頗る拂底で盛漁期等は引張り凧の狀態である斯る次第で本郡としては多くの歸農者を得て田園の荒廢を防ぎたい位である云々

續々退職

長崎の三菱造船

長崎の三菱造船所では二十五日から退職職工に對する特別手當はこれを打切るといふ公表をしたので職工側は氣をいらち退職申出殺到し二十二日までの退職許可數三千二百六十六名、内歸郷者八百二十九名に達した尚ほ銓衡中のものも澤山ある

因みに同工場委員會では二十三日午後六時から水浦食堂で委員會を開き委員辭職に就き代理抽籤の件、職工税撤廢運動經過報告、職工淘汰後に於ける能率增進に關する件、職工に停止年限の必要なきや等を附議した（長崎電報）

申出尠し

長崎三菱手當

三菱長崎造船所の退職手當は二十五日限り廢止に付同日は多數の申出者あるべく豫期されて居たが正午まで僅に六十五人に過ぎなかつた、當初よりの合計は三千五百六十九人である、因に此度の特別手當其他の縮小に要する雜費を合すれば百餘萬圓に上ると言はれて居る（長崎電報）

三菱造船淘汰

三千七百人

三菱長崎造船所の退職々工に對する特別手當支給は二十五日を以て打切つたが二十四日までの退職者は三千五百四名で其の内譯は造機部九百九十名造船部二千二百七十五名、電氣部百九十七名、總務部三十七名、製鋼部五名であつた尚二十五日中に二百名位の退職ある見込であるから都合三千七百名の退職者を出した譯である